

正々堂々

町田市立薬師中学校
第3学年 学年日より
令和8年6月4日
第10号

体育祭 作文紹介

「最後の体育祭」 3年2組 生徒

自分は最後の体育祭を振り返って、苦労したし今までで一番感動した良い体育祭だったなと思いました。当日こられない人や、怪我人が多い中体育祭に挑みました。正直最初は体育祭を諦めてしまう自分がいました。だけど、みんなが勝つために意見がぶつかりあいながら話し合っていたり、最後の体育祭を体育委員を中心に成功に終わらせるように努力する姿をみて、出れない人の分も「勝ちたい」という気持ちに変わっていききました。

自分はムカデと全級リレーと選抜リレーと大縄に出場しました。自分はこの中でもムカデが一番感動しました。ムカデでは、練習で一回も勝ったことがなく本番が不安になりました。だけど、前日のギリギリまでみんなで作戦会議をしました。そこでも意見がぶつかり合いました。そして本番を迎え、2組の女子が一番に男子にバトンを渡しました。そこで、「勝てるかも」と初めて思いました。結果は勝つことができました。みんなが涙を流している姿を見てこれまで頑張ってきたなと思いました。

次に全級リレーと選抜リレーと大縄について話します。大縄では、練習で回し手と跳ぶ人のタイミングが合わずたくさん苦労しました。それでも本番になるとみんなの集中力と勝ちへの執念があったから、今までで一番回数を跳ぶことができました。選抜リレーでは、先頭でした。クラウチングスタートの構えをしたときは、足が震えとても緊張しました。一番に「バトンを渡したい」「絶対に勝ちたい」という気持ちがありました。それで自分は一番か二番目かに、バトンを渡すことができました。全級リレーではアンカーでした。先に1組の人がバトンを渡しました。自分は少し差があり二番目でバトンを渡されました。少し差があったけどなぜか、自分は「行けるかも」と思ってしまいました。全力で走り、先頭の人に距離をつめていききました。だけど先にゴールされてしまいました。ほんとに悔しかったです。

自分は一番感動したことがあります。それは体育委員長の言葉です。練習終わりの講評だったり、体育祭の始まりの言葉だったり終わりの言葉だったり、その言葉はまだ覚えています。特に体育祭の最後の言葉のときが一番感動しました。

最後に、体育祭を終えて得たものは「チームワークと達成感」「困難を乗り越える力」だと思います。成功した体育祭で良かったなと思いました。

「感動したこと」 3年1組 生徒

僕が、体育祭で一番感動した瞬間は、MUKADE にあります。今まで、練習で僕達は、良い結果を出してきました。掛け声は、『1, 2 ワッサ!』、列の奇数が1, 2、偶数がワッサという、進む時は前に飛ぶように意識するなど、様々な作戦を実践しました。最初は転んでばかりでしたが、練習を重ねるごとに、僕達は団結していききました。様々なアドバイスをもらいながら、作戦会議をしながら、僕達はMUKADEを上達させていききました。練習中、キツくなってきたら、共に声を上げ、踏ん張りました。楽しい練習でした。

体育祭本番、MUKADE が始まりました。最初は、女子チームが走ります。女子チームがレーンの4分の3ぐらいに差し掛かった時、女子チームは転んでしまいました。その間に、2組が追い抜きました。僕は少し、焦ってしまいました。でも、女子チームは諦めず、リズムを直し、進みはじめました。僕は、その女子の姿を見て、僕も頑張らなくてはと思いました。女子チームがスタート地点に戻ってきた時、もう2組とは、半周ぐらいの差をつけられていましたが、僕達は走り出しました。少しでも、希望があると信じて。走っても、なかなか2組には追いつけません。僕達が、真ん中に差し掛かった時、2組は、もうゴールの手前にいました。それでも、僕達は前に進みます。僕達がレーンの4分の2.5ぐらいについた時、2組が先にゴールしました。僕は、少し悔しさを感じましたが、1, 2 ワッサの掛け声でかき消しました。ラストスパート、2着だというのはわかっていても、全力を出して、ゴールに進みました。応援の中、進み続けました。MUKADE の先頭が、ゴールの線を越え、ゴールを知らせる発砲音が聞こえました。僕達は、止まり、足の縄を解きました。

この体育祭の期間の中で、大ムカデで一生懸命に声を張り上げる姿に、全校練習で他学年の手本として率先して行動する姿に、練習がうまくいかなくても絶対に諦めない姿に、競い合う相手のクラスをけなさず互いに称えあえる姿に、大きな成長を感じました。3年生の姿はとても、とても立派でした。全員、本当に素晴らしい活躍でした。

来週末は第1回進路説明会

さて、体育祭で見てくれた熱いエネルギーを、今度は自分の未来を切り拓く力へと変える時が来ました。来週の金曜日、第1回進路説明会を開催します。

「進路」や「受験」という言葉を聞くと、急にプレッシャーや不安を感じる人も多いかもしれませんが、焦る必要はまったくありません。大切なのは、まず正しい情報を集めて「見通しを立てる」ことです。

進路説明会では、今後のスケジュールや入試の仕組みについて解説します。保護者の皆様とも目標を共有し、一歩ずつ進んでいきましょう。不安を安心に変えるための第一歩です。皆で一緒に、スタートを切りましょう。